

## 2026年度(令和8年度)下水道事業の予算の概要

### 1 業務予定量

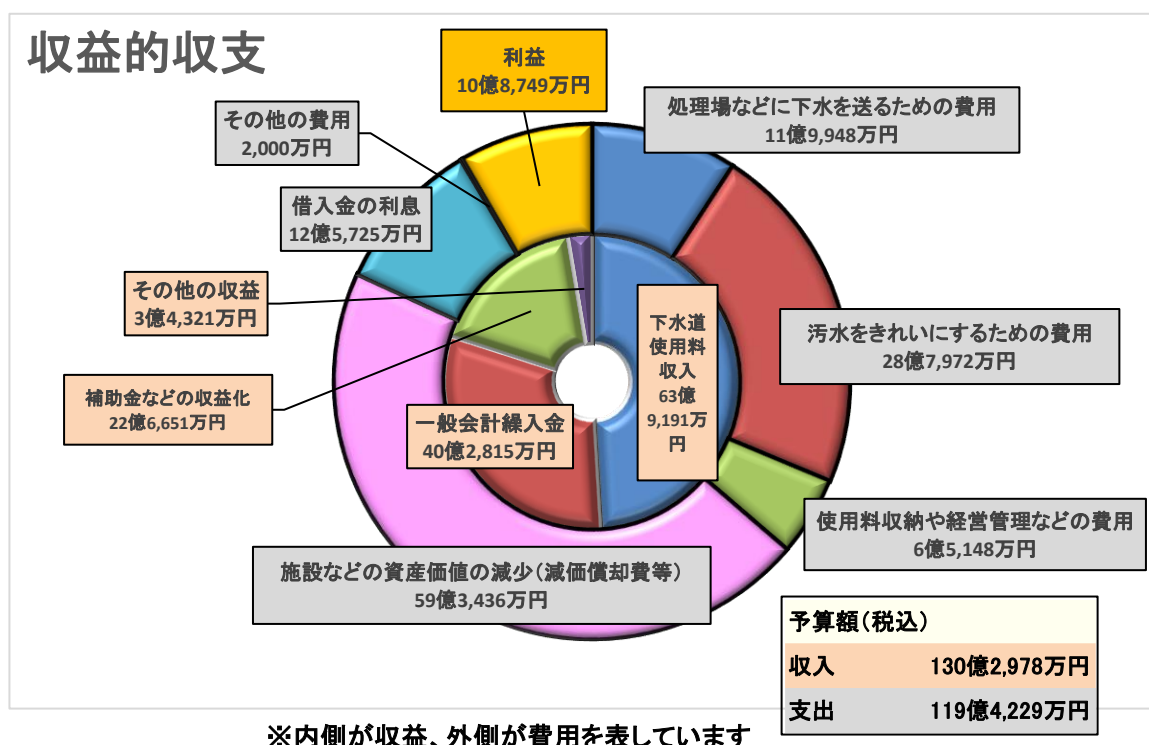
事 項	2026年度 (令和8年度)	2025年度 (令和7年度)	増 減
排 水 戸 数	171,432 戸	168,170 戸	3,262 戸
年間総処理水量	39,199,674 m <sup>3</sup> /年	38,840,099 m <sup>3</sup> /年	359,575 m <sup>3</sup> /年
一日平均処理水量	107,396 m <sup>3</sup> /日	106,411 m <sup>3</sup> /日	985 m <sup>3</sup> /日
主要な建設改良事業	155億2,597 万円	109億1,118 万円	46億1,479 万円

### 2 収益的収支(下水道使用料の収納や汚水の浄化などに伴い発生する収入と支出)

収益的収入は、前年度に比べて3億9,142万円(3.1%)増加し、130億2,978万円です。一方、収益的支出は、前年度に比べて3億4,784万円(3.0%)増加し、119億4,229万円です。この結果、収益的収入と収益的支出の差引は、10億8,749万円の利益となる見込みです。

(税込)

事 項	2026年度 (令和8年度)	2025年度 (令和7年度)	増 減
収 益 的 収 入	130億2,978万円	126億3,836万円	3億9,142万円
(うち、下水道使用料収入)	(63億9,191万円)	(63億6,059万円)	(3,132万円)
収 益 的 支 出	119億4,229万円	115億9,445万円	3億4,784万円
差 引	10億8,749万円	10億4,391万円	4,358万円



### 3 資本的収支(下水道施設の建設・改良などにかかる収入と支出)

資本的収入は、前年度に比べて43億8,231万円(36.8%)増加し、162億7,990万円です。一方、資本的支出は、前年度に比べて42億9,673万円(25.6%)増加し、210億9,093万円です。この結果、資本的収入が資本的支出に不足する額は、48億1,103万円となる見込みです。

なお、不足額は、減価償却費など企業の内部に留保される資金等で補てんします。

(税込)

事 項	2026年度 (令和8年度)	2025年度 (令和7年度)	増 減
資 本 的 収 入	162億7,990万円	118億9,759万円	43億8,231万円
資 本 的 支 出	210億9,093万円	167億9,420万円	42億9,673万円
差 引	△48億1,103万円	△48億9,661万円	8,558万円

#### ○公共下水道整備事業【146億7,800万円】

汚水整備事業として、汚水幹線及び枝線管渠埋設工事を行います。

浸水対策として、手城川流域の内水排除対策(蔵王雨水幹線及び蔵王ポンプ場築造工事)を行うほか、一ツ樋ポンプ場増設工事、東桜町地区の浸水被害軽減に向けたバイパス管整備等を行います。

その他、管渠・ポンプ場の耐震化・長寿命化工事や新浜ポンプ場改築事業等を行います。

#### ○流域下水道整備事業【8億4,797万円】

広島県が整備する芦田川流域下水道の建設にかかる事業費を負担します。

### 4 借入金の状況

借入金の残高は、前年度に比べて42億5,448万円(5.3%)増加し、848億432万円となる見込みです。

※2024年度の借入金残高については、集落排水事業特別会計からの引継ぎ分、2.7億円を含みます。

